

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2007.6.1

No.35

悪い人間たちは滅ぼされましたがノアたちだけは箱舟に乗って助かったという「ノアの箱船」の話を聞いたことがありませんか。

神話の一つととらえている人も多いと思いますが、旧約聖書に本当にあった出来事として記されているのです。

下の絵は絵本などに出てくる典型的な箱舟の絵ですが、聖書の記述とはかなり違います。



長さ一三七m、幅二十三m、高さ十三・五mとあります。今のタンカーくらいあるのです。聖書は、その設計図を創造主から与えられたといえます。(下の絵はそれに基づいた予想図)実は、長さ、幅、高さの比が、三十対五対三になります。これは船舶工学で「黄金比」と呼ばれ、どれほど高波を受けてもひっくり返らない安定した理想的な形なのです。設計図が神から与えられた証拠の一つではないでしょうか。

聖書は、この当時世界的な規模の洪水が

うそ？ほんと？ノアの箱船



起こったと述べていますが、このようなことは、だれも実験によって確かめることはできません。今観察できる状況から推測するしかないのです。ところが、ここ三十年間ほどの研究で実際にそれが起こったのではないかと考える科学者が増えてきたのです。

世界各地に残る洪水伝説

ハワイ、中国、メキシコ、バビロニアなど世界各地に洪水伝説が残り、箱舟のようなものが造られ、一部の人間だけが生き残ったという共通点があります。

化石の存在

進化論を信じる科学者たちは「斉一説」(せいいつせつ)…昔から今の時代と同じような環境がずっと続いてきたという考え(河口に一年に5cm土砂がたまるのと何千、何万年という間同じようにたまっていったと考えます。この考えでは、1mの地層は、できるのに二十年かかることになり。ところがこれには大きな問題があります。このようなゆっくりとした変化では、化石ができる可能性はほとんどありません。生きたままか、死後直後に一気に土砂等に埋められなければ、死体は腐敗し、分解され、あとかたもなくなってしまう。ところが現実には、世界中から多くの化石が産出されます。聖書を信じる科学者たちは、この世界的規模の洪水のとき

に、化石ができたのではないかと考えます。

地層のでき方

世界中の地層を見ると、風紋・波紋(風や波による土砂の模様)や足跡が残るなど一気に次の層ができなければ残らないものがたくさん残っています。分厚い地層が曲がっている様子(地層のしゅう曲)から見ても、分厚い地層の全体が固くならないうちにもすごい力がかかったことがわかるのです。長い年月でできたとすると下の地層は固まって曲がるときにちぎれたようになるからです。

地・山脈・海溝など

八千mを超えるエベレスト山山頂の地層も海の中でできたことがわかっています。実は、地球の表面を平らにすると、全地は海水で覆われ、その深さはなんと三三m近くになるのです。すなわち、今よりも地面がなめらかならば水が全世界を覆う可能性があるので。聖書から見ると、全世界を覆った洪水の後に地殻変動が起こり山地・山脈・海溝などができたと考えられます。

地殻(プレート)が移動するという考え方はかつては一笑されました。でも今日では常識です。このように、今の科学でも聖書の記述の方が、理解しやすいことも多いのです。

こんなことしました！ 行事報告

五月

- 三日～五日 バイブルセミナー（協同学苑）
- 九日 朝日東西名人会（梅田芸術劇場）
- 十一日 J.Cチャーチスクール訪問

「脳！内なる不思議の世界へ」

大阪歴史博物館

M十五才誕生日

- 二十一日 関西国際空港（A姉妹見送り）
- 二十四日 北田辺のおじいちゃん誕生日会
- 二十六日 日曜学校遠足（錦織公園）
- 二十八日 ホームスクーラー交流会

（奈良県榛原Rさんお宅）

バイブルセミナー

R

五月三日からしゅう会のセミナーに行きました。きょうどうがくえんにバスにのって二時間ぐらいで着きました。おじいちゃんとおばあちゃんや山口から大さかまできてくれました。それでいっしょに行きました。二日目の午後から二時間ぐらいテニスをしました。Hちゃんにいろいろ教えてもらいました。むずかしかったけど楽しかったです。

日曜学校は五回ありました。おもしろかったです。イエスさまの話の聞いたり、ゲームや工作をしたりしました。それから夜にはMちゃんのおへやに女の子が集まりました。すごく楽しかったです。また行きたいです。



歴史博物館の特別展。いろいろな脳の大きさにびっくり。



アメリカに帰られる宣教師のRさんの家に集まりました。裏山で思いっきり遊びました。

日曜学校の遠足。真夏日の暑さにめげず、小さな子どもたちといっしょに大きいすべり台で遊びました。



関西国際空港

N

私の集会のA姉妹が医療宣教師としてアフリカにあるザンビアという国に出発しました。私たちは見送りのために関西国際空港へ行きました。医療宣教師とは看護師や助産師として働きながらキリストの福音を伝道することです。ザンビアという国は日本の二倍もの広さの大地になると1km四方に約十二人しかいない所です。世界でも人口密度の低い国の一つです。A姉妹の見送りに何十人も人が来ていました。私たちはA姉妹が飛び立つ所まで見送りました。その後は展望ホールで遊びました。そこには飛行機の操縦席が再現されたものがあって

みんな楽しく遊びました。ほかにいろいろありました。

私の将来の夢はA姉妹みたいに看護師になって医療宣教師になることです。なぜならイエス様のことを伝えたいからです。だから今できる勉強をがんばりたいです。



編集後記

日が長くなり、朝も明るくなるのが早くなりました。早朝勉強、朝の運動タイムも調子がでてきたようです。息子たちは夕方に長居公園一周ランニングにも時々行っています。記録がどれだけ伸びるでしょうか。